

令和5年度 第4四半期（2024年1月～3月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=24 事業所(回答率 96%)

2. 調査対象期間

今期=2024年1月～3月

- ・前年同月比=前年同期(2023年1月～3月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(2023年10月～12月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(2024年4月～6月)の見通し

3. 調査期間 2024年3月13日～3月22日

4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が0より上の場合=景気は上向き

DI値が0の場合 =景気は横ばい

DI値が0より下の場合=景気は下向き

5. 調査項目ごとの状況

(1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲29.2で、業種別にみると「卸売業」が0.0で最も高く、「建設業」「小売業」が▲20.0で続いている。

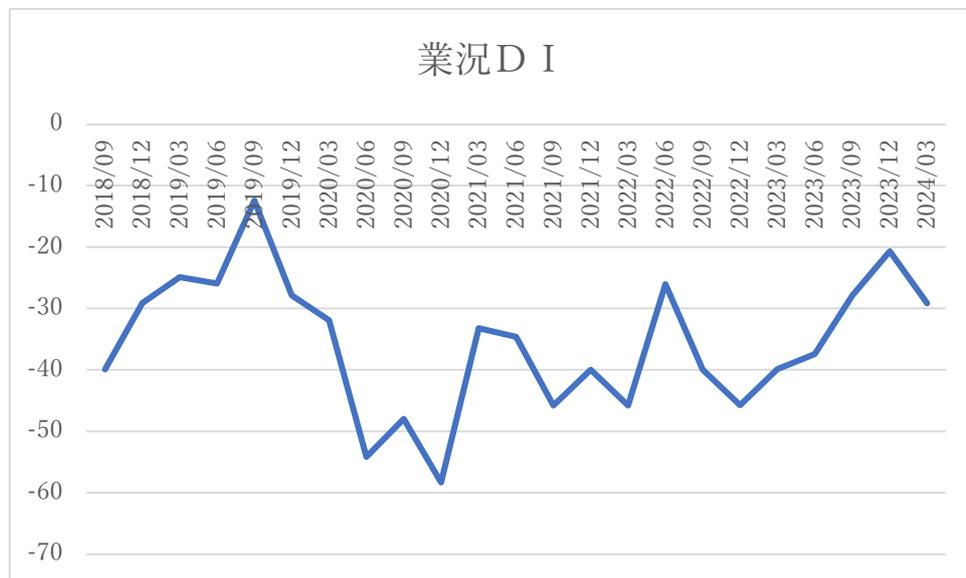
先行きは横ばいの▲29.2で、業種別では「製造業」で改善、「建設業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2023年 10~12月期 (前回調査)		2024年 1~3月期 (今回調査)		2024年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲20.7	↗	▲29.2	↘	▲29.2	→
建設業	0.2	↗	▲20.0	↘	▲40.0	↘
製造業	▲20.0	↗	▲40.0	↘	▲20.0	↗
卸売業	▲40.0	↘	0.0	↗	0.0	→
小売業	0.5	↗	▲20.0	↘	▲20.0	→
サービス業	▲40.0	→	▲75.0	↘	▲75.0	→
(参考)全国全産業	▲8.4	↗	▲12.9	↘	▲12.2	↗
(参考)東北全産業	▲14.0	↘	▲21.6	↘	▲16.7	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)



(2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲37.3 で、業種別にみると「卸売業」が 0.2 で最も高く、「建設業」が▲39.8 で続いている。

先行きは 0.1p 悪化の▲37.4 で、「小売業」で改善、「卸売業」で悪化となっている。

図表2 売上高DI

	2023年 10~12月期 (前回調査)		2024年 1~3月期 (今回調査)		2024年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲37.3	↗	▲37.3	→	▲37.4	↘
建設業	▲19.6	↗	▲39.8	↘	▲39.8	→
製造業	▲40.0	↗	▲40.0	→	▲40.0	→
卸売業	▲60.0	↘	0.2	↗	▲19.8	↘
小売業	0.5	↗	▲59.8	↘	▲40.0	↗
サービス業	▲60.0	↘	▲49.8	↗	▲49.8	→
(参考)全国全産業	3.3	↗	1.2	↘	▲2.0	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

(3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲20.8 で、業種別にみると「卸売業」が 0.2 で最も高く、「建設業」が 0.0 で続いている。

先行きは 12.5p悪化の▲33.3 で、「製造業」で改善、「建設業」「卸売業」で悪化となっている。

図表3 採算DI

	2023年 10~12月期 (前回調査)		2024年 1~3月期 (今回調査)		2024年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲24.9	↗	▲20.8	↗	▲33.3	↘
建設業	0.2	↗	0.0	↘	▲40.0	↘
製造業	▲20.0	↘	▲40.0	↘	▲20.0	↗
卸売業	▲60.0	→	0.2	↗	▲39.8	↘
小売業	0.3	↗	▲20.0	↘	▲20.0	→
サービス業	▲40.0	↗	▲50.0	↘	▲50.0	→
(参考)全国全産業	▲10.6	↗	▲11.9	↘	▲11.3	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲12.5で、業種別にみると「建設業」が0.2で最も高く、「卸売業」「小売業」が0.0で続いている。

先行きは横ばいの▲12.5で、「建設業」で悪化、その他の業種で横ばいとなっている。

図表4 資金繰りDI

	2023年 10~12月期 (前回調査)		2024年 1~3月期 (今回調査)		2024年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲25.0	↘	▲12.5	↗	▲12.5	→
建設業	0.2	↗	0.2	→	0.0	↘
製造業	▲40.0	→	▲40.0	→	▲40.0	→
卸売業	▲40.0	↘	0.0	↗	0.0	→
小売業	0.0	↗	0.0	→	0.0	→
サービス業	▲40.0	→	▲25.0	↗	▲25.0	→
(参考)全国全産業	▲9.3	↗	▲10.6	↘	▲11.4	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲70.8で、業種別にみると「サービス業」が▲50.0で最も高く、「製造業」「小売業」が▲60.0で続いている。

先行きは4.2p悪化の▲75.0で、「製造業」で悪化、その他の業種で横ばいとなっている。

図表5 仕入単価DI

	2023年 10~12月期 (前回調査)		2024年 1~3月期 (今回調査)		2024年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲66.7	↗	▲70.8	↘	▲75.0	↘
建設業	▲60.0	↗	▲100.0	↘	▲100.0	→
製造業	▲80.0	→	▲60.0	↗	▲80.0	↘
卸売業	▲80.0	↘	▲80.0	→	▲80.0	→
小売業	▲50.0	↗	▲60.0	↘	▲60.0	→
サービス業	▲60.0	→	▲50.0	↗	▲50.0	→
(参考)全国全産業	▲65.0	↗	▲64.5	↗	▲53.6	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

(6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は0.3で、全ての業種でやや不足となっている。

先行きは0.1p改善の0.4で、全ての業種でほぼ横ばいとなっている。

図表6 従業員DI

	2023年 10~12月期 (前回調査)		2024年 1~3月期 (今回調査)		2024年 4~6月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲3.8	↘	0.3	↗	0.4	↗
建設業	0.4	→	0.2	↘	0.4	↗
製造業	0.0	→	0.2	↗	0.2	→
卸売業	0.6	↗	0.4	↘	0.4	→
小売業	0.3	↗	0.4	↗	0.4	→
サービス業	▲19.6	↘	0.5	↗	0.5	→
(参考)全国全産業	23.7	↗	24.1	↗	23.1	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
コスト増(光熱費・原材料等)、人件費増。積極的なイベントの開催を願います。	卸売業
人材確保が厳しい状況で、その影響で売上・利益ともに減少している。	サービス業